

令和6年度定期作況報告

5月20日現在

道総研酪農試験場

I. 気象概況

前年11月から、本年5月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。

令和5年

11月：平均気温は上旬で極めて高く、中・下旬で平年並であった。降水量は上旬で少なく、中旬で平年並、下旬でやや少なかった。日照時間は上旬でやや少なく、中旬でやや多く、下旬で平年並であった。

12月：平均気温は上旬で高く、中・下旬でやや低かった。降水量は上旬で少なく、中旬で平年並、下旬でやや少なかった。日照時間は上・中・下旬で平年並であった。根雪始は12月12日で平年より8日早かった。

令和6年

1月：平均気温は上・中旬で平年並、下旬で高かった。降水量は上・中・下旬で平年並であった。日照時間は上旬で少なく、中旬で平年並、下旬で少なかった。

2月：平均気温は上旬でやや低く、中旬で高く、下旬でやや低かった。降水量は上・中・下旬で平年並であった。日照時間は上・中・下旬で平年並であった。2月20日の土壤凍結深は8cmで平年より15cm浅く、最深積雪深は58cmで平年より21cm浅かった。

3月：平均気温は上旬で低く、中・下旬でやや低かった。降水量は上旬で極めて少なく、中旬で平年並、下旬でやや多かった。日照時間は上旬で多く、中・下旬で平年並であった。根雪終は3月31日で平年より4日早く、積雪期間は111日で平年より5日長かった。

4月：平均気温は上旬で高く、中旬で極めて高く、下旬で高かった。降水量は上旬で多く、中旬で少なく、下旬でやや多かった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや少なく、下旬で少なかった。

令和6年

5月上旬：最低気温はやや低く、最高気温は低く、平均気温は6.8℃で低かった。降水量は14.0mmで平年より13.9mm少なかった。日照時間は43.0時間で平年より18.4時間少なかった。

5月中旬：最低気温は高く、最高気温は極めて高く、平均気温は13.0℃で平年より3.0℃高かった。降水量は13.5mmで平年より10.3mm少なかった。日照時間は65.0時間で平年並であった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、寒候期（11月～4月）を平均すると気温、日照時間および降水量は平年並であった。根雪前の11月上旬と12月上旬の気温が高く、積雪後の厳寒期の気温は1月下旬と2月中旬で平年より高く、その他の旬はやや低い～平年並みであったため、積雪深は平年よりも浅く推移したが土壤凍結は浅かった。加えて、根雪始と根雪終がやや早かったことが特徴的であった。

季節調査

	令和5年				令和6年			
	2月20日							
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	土壤凍結深 (cm)	積雪 (cm)	根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
本年	10.9	12.12	58	8	28	3.31	4.9	4.23
平年	10.15	12.20	79	23	53	4.4	4.20	5.5
比較	△ 6	△ 8	△ 21	△ 15	△ 25	△ 4	△ 11	△ 12

注1) 平年値は前10ヶ年平均値

2) △は減を示す

3) 最深積雪は根雪期間中の値

令和6年度 気象表

年	月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
R5	11	上旬	10.3	5.8	4.5	15.3	11.0	4.3	4.5	0.2	4.3	17.0	40.9	△ 23.9	5.0	2.5	2.5	26.6	45.7	△ 19.1
		中旬	3.8	3.6	0.2	9.4	8.3	1.1	-2.3	-1.7	△ 0.6	26.0	21.7	4.3	3.0	3.6	△ 0.6	64.0	48.8	15.2
		下旬	1.4	0.8	0.6	6.5	5.6	0.9	-4.1	-4.6	0.5	5.0	22.7	△ 17.7	2.0	3.0	△ 1.0	52.6	48.5	4.1
	12	上旬	0.4	-2.1	2.5	7.0	3.4	3.6	-6.3	-7.9	1.6	8.0	29.4	△ 21.4	2.0	2.1	△ 0.1	53.4	57.7	△ 4.3
		中旬	-4.6	-3.2	△ 1.4	-0.5	1.5	△ 2.0	-9.7	-9.0	△ 0.7	15.0	13.3	1.7	2.0	2.7	△ 0.7	45.1	48.9	△ 3.8
		下旬	-6.3	-4.7	△ 1.6	-1.1	-0.2	△ 0.9	-12.2	-10.4	△ 1.8	5.0	19.3	△ 14.3	1.0	2.1	△ 1.1	53.8	55.1	△ 1.3
R6	1	上旬	-5.7	-6.4	0.7	-0.2	-1.5	1.3	-13.3	-12.9	△ 0.4	4.0	6.1	△ 2.1	4.0	1.6	2.4	30.9	53.4	△ 22.5
		中旬	-7.0	-6.5	△ 0.5	-2.2	-1.6	△ 0.6	-14.0	-12.7	△ 1.3	6.0	11.0	△ 5.0	3.0	2.5	0.5	57.4	48.5	8.9
		下旬	-3.4	-6.9	3.5	0.5	-2.1	2.6	-8.3	-13.6	5.3	25.0	17.3	7.7	4.0	3.1	0.9	30.3	53.2	△ 22.9
	2	上旬	-8.5	-7.5	△ 1.0	-2.8	-2.5	△ 0.3	-15.5	-14.7	△ 0.8	0.0	8.9	△ 8.9	0.0	2.2	△ 2.2	64.5	57.3	7.2
		中旬	-2.5	-5.0	2.5	3.9	-0.3	4.2	-10.6	-11.4	0.8	7.5	14.5	△ 7.0	2.0	1.8	0.2	53.9	47.8	6.1
		下旬	-6.8	-5.1	△ 1.7	-3.1	0.1	△ 3.2	-10.8	-12.7	1.9	7.5	9.4	△ 1.9	2.0	1.6	0.4	49.5	52.7	△ 3.2
	3	上旬	-4.9	-2.6	△ 2.3	-0.1	2.2	△ 2.3	-11.7	-8.9	△ 2.8	6.0	37.6	△ 31.6	2.0	2.9	△ 0.9	77.1	52.3	24.8
		中旬	-1.8	-0.5	△ 1.3	2.3	3.9	△ 1.6	-7.1	-5.6	△ 1.5	25.5	15.7	9.8	3.0	2.4	0.6	55.1	58.2	△ 3.1
		下旬	0.1	1.2	△ 1.1	5.7	6.2	△ 0.5	-7.2	-3.9	△ 3.3	32.5	17.4	15.1	2.0	2.3	△ 0.3	74.8	70.3	4.5
	4	上旬	4.6	2.6	2.0	10.6	7.4	3.2	-1.0	-2.1	1.1	46.0	25.9	20.1	4.0	3.1	0.9	54.4	58.2	△ 3.8
		中旬	8.3	4.3	4.0	15.7	10.1	5.6	3.1	-1.0	4.1	4.5	28.4	△ 23.9	2.0	2.9	△ 0.9	44.2	59.5	△ 15.3
		下旬	9.0	6.8	2.2	14.0	13.9	0.1	5.0	0.4	4.6	31.5	19.0	12.5	3.0	3.0	0.0	42.7	70.1	△ 27.4
	5	上旬	6.8	8.9	△ 2.1	13.0	15.7	△ 2.7	1.5	2.6	△ 1.1	14.0	27.9	△ 13.9	2.0	4.2	△ 2.2	43.0	61.4	△ 18.4
		中旬	13.0	10.0	3.0	20.3	16.6	3.7	6.5	4.4	2.1	13.5	23.8	△ 10.3	2.0	2.9	△ 0.9	65.0	62.9	2.1

備考1) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10ヶ年平均値.

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況: ー

事 由

本年は融雪が早かったことから、耕鋤始は4月23日で平年と比べ12日早く、播種床造成作業は順調に進んだ。播種は平年と同日の5月17日に行われた。

品種名	播種日(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.17	5.17	0

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 平年値は前7カ年のうち最豊年の平成29年および最凶年の令和4年を除く5カ年の平均値である。

4) △は減を表す。

2. 牧草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1番草 やや良

事由

根雪終が平年より早かったことおよび気温が高く推移したことから、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は平年よりも2年目草地で5日、3年目草地で7日早かった。冬損状態は平年よりも2年目草地で0.6ポイント、3年目草地で1.2ポイント低く、総じてやや低かった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で66cm（平年値は45cm）、3年目草地で64cm（平年値は45cm）であったことから総じて良好に生育が進んでいる。

以上のことから、現時点での作況はやや良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9基)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	4/15	4/20	△5	1.0	1.6	△0.6	66	45	21
「なつちから」3年目	TY単播	4/16	4/23	△7	1.0	2.2	△1.2	64	45	19

- 注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。
2) 平年値：平成29年～令和5年のうち、最凶年と豊凶年を除く5か年平均値。2年目草地の最凶年は令和2年、最豊年は令和4年、3年目草地の最凶年は令和3年、最豊年は令和4年であった。
3) △は減を示す。

(2) 放牧型
メドウフェスク

作況：1番草 良

事由

根雪終が平年より早かったことおよび気温が高く推移したことから、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は、平年よりも2年目草地と3年目草地で11日早かった。冬損状態は、2年目草地で平年よりも1.6ポイント、3年目草地で2.2ポイント高かった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で62cm（平年値は37cm）、3年目草地で39cm（平年値は27cm）と総じて良好であった。

以上のことから、現時点での作況は良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目	MF単播	4/17	4/28	△ 11	1.0	2.6	△ 1.6	62	37	25
「まきばさかえ」3年目	MF単播	4/17	4/28	△ 11	1.0	3.2	△ 2.2	39	27	12

- 注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。
2) 平年値：平成29年～令和5年のうち、最凶年と豊凶年を除く5か年平均値。2年目草地の最凶年は平成29年、最豊年は令和3年、3年目草地の最凶年は令和3年、最豊年は平成29年であった。
3) △は減を示す。

令和6年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m ²)	反 復	施 肥 量 (kg/10a)						栽 植 様 式	
			堆肥	炭カル	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO		
1.サイレージ用									畦間72cm	
とうもろこし	11.5	3	4,000	200	10+3	20	10	4	株間18cm	
「たちぴりか」									7,716本/10a	
2.牧 草										
(1)採草型										
TY「なつちから」	造成年	11.7	4	4000	300	10	23	14	8	30cm条播
	2年目	11.7	4	-	-	17	8	17	4	播種量
	3年目	9.6	1	-	-	17	8	17	4	1.5kg/10a
(2)放牧型										
MF「まきばさかえ」	造成年	11.7	4	4000	300	10	23	14	8	30cm条播
	2年目	11.7	4	-	-	17	8	17	4	播種量
	3年目	9.6	1	-	-	17	8	17	4	3.0kg/10a

1)サイレージ用とうもろこしは、地域適応性検定試験の圃場。

2)牧草は、2、3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回（各月1日）の刈り取り。

3)TY：チモシー、MF：メドウフェスク。